

世界を結ぶ電子会議

低コストの教育を模索

GLOSAS



ニューヨークの非営利の教育振興団体GLOSAS/USA(内海武士会)は、来る八月十六日、ユネスコや世界銀行の協賛を得て、世界を結ぶ電子通信教育を推進する国際会議を開催する。

「グローバル・レクチャ―・ホール」(世界の講義堂と命名された同国際会議では、テレビ会議システムやインターネットを使って日本、アメリカ、ハンガリーなど、世界六か国、二十国か所の会場を結んで、

世界の子供たちに進んだ教育内容を送り届ける手法などを実演する。

GLOSAS会長で、元三菱総研研究員の内海武士氏は、会議の目的について「世界の貧しい地域に住む子供たちに、廉価の電子ネットワークを介して、行き届いた教育内容を送り届けることをアピールしたい」と語っている。

会議には、国連入道局長の明石泰氏やユネスコ教育局長のコリン・ワグネル氏をはじめとし、五氏が参加する。日本からは数学者の広中平祐氏などが参加する予定だ。

「ク」を通じて、世界平和を実現するためのピース・ゲーム(模擬平和会議)を試みる。さらに教師が衛星通信と電話を介して自宅から世界の子供たちに教育内容を送る実験をする。小型の受信アンテナのみを必要とする、この衛星通信教育システムを使えば、将来、子供一人にかかる教育費は、時間あたりわずか三十分に抑えられる見込みという。

今回の会議にかかるコストは二十五万円。GLOSASやブラジルの企業団体が

が拠出しているが、これだけでは世界を結ぶ会議全体の費用を賄いきれない。今回は国連の支援の下、六回の通信衛星を無料で借り切ることができたのが、実現への決め手となった。

が拠出しているが、これだけでは世界を結ぶ会議全体の費用を賄いきれない。今回は国連の支援の下、六回の通信衛星を無料で借り切ることができたのが、実現への決め手となった。

THE YOMIURI AMERICA

NY版

©Yomiuri America, Inc. (212) 769-1111 FAX: (212) 769-1112 1000 Fifth Avenue, 2F, New York, NY 10017-2498

1996年7月5日 金曜日

516号(週刊)

©販売アメリカ社